

2025年度 株主との対話実施状況等

2025年度 株主との対話実施状況等(1/3)

【対話・フィードバック概要】

項目	状況
主な対応者	経営層： 社長、副社長（CFO、経営戦略本部担当役員）、社外取締役等 事務局： 経営戦略本部CSR推進グループ（機関投資家対応）
対話株主 （概要）	国内外機関投資家等に対して以下を実施 個別面談 ：機関投資家(国内：137件、海外：117件)、アナリスト等27件 （ファンドマネージャー、ESG担当、議決権行使担当者など） 決算・経営計画説明会 ：3回（国内・機関投資家） 見学会・事業説明会等 ：1回（国内・機関投資家）
フィードバック実施状況 （経営会議）	○取締役会：年2回程度株主の声をフィードバック ○その他：決算説明会・個別面談等における資本市場との対話状況をメール等で定期的に取締役へ報告

2025年度 株主との対話実施状況等(2/3)

【対話の主なテーマ、株主の関心事項】

項目	関心事項
原子力	○浜岡原子力発電所再稼働にかかる不適切事案に関する事項（発生要因、経営への影響など）
経営戦略 ・資本政策	○PBR向上に向けた取り組み／次期中期経営計画の方向性（中期経営計画の骨子の内容） ・収益力強化、資本効率(ROE、ROIC等)改善に向けた施策（選択と集中）の検討・実施状況 ・資本コストや事業リスクを踏まえた最適資本構成（自己資本比率）の考え方 ・株主還元（配当、自己株取得）に対するスタンス
財務関係	○各セグメントの実力利益水準、2026年度以降の収支見直し ミライズ：標準メニュー見直しの考え方や競争動向、内外無差別下の電源調達PF構築 PG：需給調整費用の収支影響、物価高・金利上昇影響に対する制度設計 JERA：実力利益と今後の資本形態、配当への対応等 ○上記セグメント以外の財務状況（不動産事業や戦略的投資の進捗・収支影響など）
ESG	E ○2030年脱炭素目標達成に向けた具体的情報開示（工程・KPI・リスク管理・財務的影響等） ○2050年ネットゼロ実現に向けた中間目標（2040年等）の考え方 ○再エネ拡大目標の進捗、収支影響
	S ○人財戦略の方向性・取り組みの進捗 －多様な人材が活躍できる環境づくりに向けた取り組み（女性管理職比率向上等）
	G ○浜岡原子力発電所再稼働にかかる不適切事案を受けたガバナンス見直し ○取締役会の実効性、監査等委員会の活動状況等

2025年度 株主との対話実施状況等(3/3)

【対話を通じた改善事項】

項目	改善事項
PBR向上	<ul style="list-style-type: none">○2026年4月公表「中部電力グループ新中期経営計画の骨子」において、資本市場からの関心が高い事項について方向性を明示<ul style="list-style-type: none">・資本効率向上に向けた基本的な考え方【ROE8%以上を目指す水準に設定】・株主還元充実【2025年度増配実施（60円→70円）、2026年度以降の配当下限を明示】○決算説明会資料の記載内容拡充（不動産事業・個社決算情報の開示等）
環境・気候変動に係る開示	<ul style="list-style-type: none">○中部電力グループレポートにおける気候変動に関する情報充実（各事業毎のロードマップ詳細化、削減貢献量開示等）○中部電力TNFDレポートの記載改善（TNFDが提言する分析手法に沿った開示）
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none">○取締役会の実効性評価に関する開示充実（新たに導入した第三者機関を活用した評価結果の開示等）○監査等委員会の活動状況に関する開示
社外取締役との対話	<ul style="list-style-type: none">○資本市場からの社外取締役との対話要請に基づき、個別面談継続（参考）2026年度においても、議決権行使に係る対話に社外取締役が対応